

【基本指標】

総務省承認 No. 26790  
承認期限 平成19年 8月31日まで

農政事務所等	市区町村番号	調査経営体番号
.....	.....	.....

秘 農林水産省

集落営農活動実態調査  
集落営農活動実態調査票  
(平成19年 3月 1日現在)

この調査は、平成19年2月1日現在で農林水産省が実施しました「集落営農実態調査」において、市区町村で把握されている集落営農組織のうち、ランダムに抽出した集落営農組織を対象として実施しているものです。  
この調査により皆様方の集落営農組織の取組実態等を把握し、集落営農組織の育成・確保・支援にかかる施策の企画・立案・推進等に必要な資料を得ることとしています。  
この調査で得られた結果については、法律により秘密を厳守し外に漏らしたり、課税等の資料には絶対にいたしません。是非ともご協力いただき、ありのままをお答えくださいますようお願いいたします。

【1】 組織の概要について

1 設立年次

あなたの集落営農の設立年次について、昭和又は平成の該当する年号を○で囲み、整数で記入してください。

101	昭和	.....	年
102	平成	.....	

2 代表者の年齢、性別

代表者の方の年齢を記入し、性別を○で囲んでください。合議制等で特定の一人の代表者を決めていない場合は、それらの方の最も若い方一人について記入してください。

年齢 

103	.....
-----	-------

 歳      性別 

104	1 男	2 女
-----	-----	-----

3 集落営農に参加している農家の所有耕地面積

あなたの集落営農の構成員が所有するすべての耕地面積（田・畑のみ）を記入してください。

..... ha

田 + 畑	105	.....	.....	.....	.....
-------	-----	-------	-------	-------	-------

4 基盤整備の状況

あなたの集落営農が存在する農業集落における基盤整備の割合（30a区画以上の割合）を記入してください。

割合 

106	.....
-----	-------

 割

5 預貯金口座の開設状況

あなたの集落営農の預貯金口座の開設について、該当する番号（1つ）を○で囲んでください。

	開設している	開設する予定がある	開設する予定がない
107	1	2	3

## 6 農業共済組合への加入状況

あなたの集落営農の農業共済資格団体としての農業共済組合への加入状況について、該当する番号（1つ）を○で囲んでください。

	組合員となっている	組合員となる予定がある	組合員となる予定はない
108	1	2	3

## 【2】 経営の内容について

### 1 出資額の状況

あなたの集落営農の構成員の出資金について、該当する番号（1つ）を○で囲んでください。また、出資金がある場合は、構成員1人当たりの平均出資額を記入してください。

201	出資金がある	1	→	203				万円
202	出資金がない	2						

### 2 資金等の調達状況

(1) あなたの集落営農が設立して以降の農業用機械・施設等を装備するための資金等の調達について、調達方法の割合を整数で記入してください。

204	構成員の拠出金	
205	行政からの補助金	
206	機械・施設等のリース	
207	農林漁業金融公庫の制度資金	
208	農協の融資	
209	制度資金、農協以外の融資 <sup>(注)</sup>	
210	内部留保	
	計	10割

注：「制度資金、農協以外の融資」とは、農林漁業金融公庫の制度資金又は農協の融資以外に金融機関等から借り入れた資金をいう。

(2) 農業生産資材等の短期運営資金の調達について、該当する番号（1つ）を○で囲んでください。

また、現在借り入れしている場合は、借入内容別に金額の割合を整数で記入してください。

211	現在借り入れしていない	1	→	213	農林漁業金融公庫の制度資金	
212	現在借り入れしている	2		214	農協の融資	
				215	制度資金、農協以外の融資	
					計	10割

### 3 財務諸表の整備状況、納税の申告方法等

(1) 財務諸表の整備状況について、該当する番号(すべて)を○で囲んでください。

	財務諸表を整備している				財務諸表を整備していない
	貸借対照表を整備している	損益計算書を整備している	収支計算書を整備している	その他の書類を整備している	
216	1	2	3	4	5

(2) 納税の申告方法について、該当する番号(1つ)を○で囲んでください。

	構成員が個々に申告	組織として一括で申告
217	1	2

(3) 経理実務の体制について、該当する番号(すべて)を○で囲んでください。

218	集落営農内で行っている。	金融機関の勤務経験、会社等での経理事務の経験のある者が行っている。	1
219		実務経験はないが、簿記の知識のある者が行っている。	2
220		その他	3
221	農協に任せている。		4
222	税理士、公認会計士などに任せている。		5

### 4 農産物の生産状況

昨年1年間であなたの集落営農が生産した作物について、該当する番号(すべて)を○で囲んでください。なお、農産物販売金額が1位の作物については、◎で囲んでください。(農産物販売金額での記入が難しい場合は、作付面積が第1位の作物で構いません。)

	水稻・陸稲	麦類	大豆	雑穀・いも類・豆類 (大豆を除く)	工芸作物	野菜類
223	1	2	3	4	5	6

  

	果樹類	花き・花木	飼料作物	その他
	7	8	9	10

### 5 労働力の状況

(1) オペレーター

過去1年間に農業用機械を操作した人(オペレーター)について、年齢構成別の人数を記入してください。

		男 (人)	女 (人)
39歳以下	224	227	
40～64歳	225	228	
65歳以上	226	229	

(2) 主たる従事者

集落営農の構成員のうち、あなたの集落営農が行う耕作又は養畜を中核的に担っている者について、年齢構成別の人数を記入してください。

		男 (人)	女 (人)
39歳以下	230	233	
40～64歳	231	234	
65歳以上	232	235	

## 6 資本装備の状況

(1) 以下の農業用機械について、所有形態別に過去1年間の利用台数を記入してください。

		過去1年間に利用した台数	過去1年間に利用した台数		
			組織で所有する機械(台)	構成員が所有する機械を利用(台)	リースで借り入れた機械(台)
乗用トラクター	30馬力未満	236			
	30～100馬力	237			
	100馬力以上	238			
動力田植機	6条植以下	239			
	8条植以上	240			
乗用型防除機		241			
自脱コンバイン	3条以下	242			
	4条以上	243			
普通型コンバイン		244			

(2) 以下に記載した農業用施設の所有数を記入してください。

育苗施設	245			施設
堆肥製造施設	246			施設
乾燥調製施設	247			施設
集出荷貯蔵施設	248			施設
処理加工施設	249			施設
直売所	250			施設

## 7 農産物の販売金額及び農作業受託料金収入

過去1年間の農産物の販売金額(粗収益)及び農作業受託料金収入を記入してください。(農作業受託料金収入には、集落営農の構成員から請け負った作業の料金も含めます。)

(億)		(億)	
農産物の販売金額	251	農作業受託料金収入	252

## 8 農産物の出荷状況

あなたの集落営農で生産した作物の出荷状況について、該当する番号(1つ)を○で囲んでください。

		出荷している	出荷していないが予定がある	出荷する予定がない
販売金額1位の作物について、組織名義での出荷	253	1	2	3
その他の作物について、組織名義での出荷	254	1	2	3

## 9 利益の配分状況

(1) 主たる従事者1人当たりの年間所得金額

過去1年間に集落営農活動により得た所得金額(1人当たりの金額)を記入してください。

255				万円
-----	--	--	--	----

(2) あなたの集落営農では、得られた利益を構成員に還元していますか。該当する番号(1つ)を○で囲んでください。

また、「還元している」と答えた方について、あなたの集落営農では、どのような方法で還元していますか。該当する番号(すべて)を○で囲んでください。

	還元している	還元していない
256	1	2



	出資(提供)面積に応じて配分	出資金比率に応じて配分	出資(提供)農地で生産された生産物の量に応じて配分	出役時間・日数に応じて配分
257	1	2	3	4

(3) 過去1年間の構成員1人当たりの平均利益還元額を記入してください。

258	.....	万円
-----	-------	----

### 【3】今後の経営展開方向について

#### 1 集落営農の経営規模の意向

経営耕地面積など経営規模の今後(おおむね5年後)の意向について、該当する番号(1つ)を○で囲んでください。

		拡大する	現状維持	縮小する
経営耕地面積	301	1	2	3
うち所有面積	302	1	2	3
うち借入面積	303	1	2	3
農作業受託面積	304	1	2	3

#### 2 集落営農による効果と課題

(1) 集落営農を行ったことによる効果について、該当する番号(すべて)を○で囲んでください。

	農地の維持・管理ができた(耕作放棄の防止)	作業の共同化、資材の共同購入等により生産コストの軽減ができた	農業用機械・施設の装備が容易になった	資金の調達が容易になった	集落営農における農業の担い手の育成・確保ができた	新規作物の導入が可能になった
305	1	2	3	4	5	6

食品加工への取組ができた	消費者との交流ができた	産地直売所の開設など販路の拡大ができた	集落における連帯感の醸成、集落活動の活性化が図られた
7	8	9	10

(2) あなたの集落営農が直面している課題について、該当する番号（すべて）を○で囲んでください。

	次のリーダー候補者の育成・確保	ほ場条件が悪いため作業効率が悪い	構成員の出役等の作業の配分調整が困難	農作業従事者の不足	農業用機械・施設の更新資金の不足	集落外に居住する地権者の増加
306	1	2	3	4	5	6

3 集落営農の法人化の意向（法人化していない集落営農の方のみご記入ください。）

あなたの集落営農では、農業生産法人化計画を策定していますか。該当する番号（1つ）を○で囲んでください。

また、「いいえ」と答えた方について、あなたの集落営農が農業生産法人化計画を策定していない理由は何ですか。該当する番号（すべて）を○で囲んでください。

	はい	いいえ
307	1	2



	非法人のままでも営農に支障がない	法人として農業経営を継続できるか不安がある	法人経営に必要な資金の確保が困難	組織内に後継者（次のリーダー候補者）・役員の手がいない	経理実務が困難
308	1	2	3	4	5

	労務管理が困難、社会保障の負担増	法人化の手続きが煩雑	法人化した場合の税制上のメリットがわからない	組織の維持そのものが困難
	6	7	8	9

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。  
同封しました返信用封筒によりご返送ください











